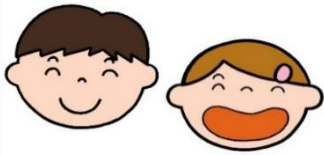


～子どもの学びと育ちを支え、質の高い幼児教育・保育を目指して～



つむぐ

No. 9

令和3年 3月22日発行 袋井市幼児教育センター

みんなで考え合って表現します



目的に向けて互いの思いを出し合って考え合う

袋井の幼児教育で育成する力

生活習慣	自分のことは自分でできる	(1)自立心
		(2)道徳性 規範意識の芽生え
		(3)健康な心と体
		(4)社会生活との関わり
学びに向かう力	みんなと頑張れる	(5)自然との関わり・生命尊重
		(6)言葉による伝え合い
		(7)協同性
基礎となる力	考える・やってみる	(8)思考力の芽生え
		(9)数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚
		(10)豊かな感性と表現

思いを伝え合い、受け入れ合える関係づくり

園では、子どもが友達と一緒に遊びや生活をする中で、自分の思いを伝えることや友達の気持ちを聞く経験を重ねます。次第に子どもは、一緒に活動する心地よさや楽しさが増し、友達関係が深まっていきます。

友達と考え合って進める

5歳になると、友達と共通のイメージをもって遊び、目的に向かって集団で活動することが増えていきます。今まで経験してきたことを生かし、遊びに必要なものや考え方、進め方などについて友達と相談しながら活動します。

その時、保育者は子どもが自分たちで作り上げていくことを楽しめるように、思いや考えに共感したり、助言したりするなどして、丁寧に関わっていきます。

友達と考え合って進める経験は、自信をもって言葉や行動で表現する姿につながります。



表現遊びに必要なものを相談してつくる



役になりきって表現し、楽しさを伝える

本市では、「袋井市就学前教育・幼小接続カリキュラム」に基づき、10の力を育成する教育を行っています。幼児教育センターだより『つむぐ』では、市内の幼稚園や保育所(園)での実践の様子などを紹介しています。

袋井市教育委員会 幼児教育センター 86-5511 幼児教育センターHP <https://fukuroi-education.edumap.jp>

